

NEWS RELEASE

 日立電線ネットワークス株式会社

〒111-0053
東京都台東区浅草橋 1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル 4F
お問い合わせ先 システムエンジニアリング本部
TEL: 03-6381-8856
<http://www.hitachi-cnet.com/>

2014年 2月 19日

～オールインワン認証アプライアンス「Account@Adapter」～

Shibboleth 認証への新たな取り組み

WisePoint と連携したクラウド・学認とネットワーク認証のシングルサインオンを実現

このたび、日立電線ネットワークス株式会社（以下、「当社」といいます。）は、自社開発・販売をしているオールインワン認証アプライアンスサーバ「Account@Adapter」（アカウントアダプタ）と、多彩な認証方式を持つファルコンシステムコンサルティング株式会社の「WisePoint」との連携を確認しました。この連携により、Shibboleth 認証に対応したサービスへのログイン認証と、ネットワーク認証デバイスへのログイン認証のシングルサインオンを、高セキュアな多要素認証で実現できます。今後両社は、この連携ソリューションを積極的に拡販していきます。

これまで両社で共同検証を進め、2013年12月に開催された大学ICT推進協議会2013年度年次大会においてデモ展示を行い、多くの大学教育機関より高い評価を得ました。

■背景

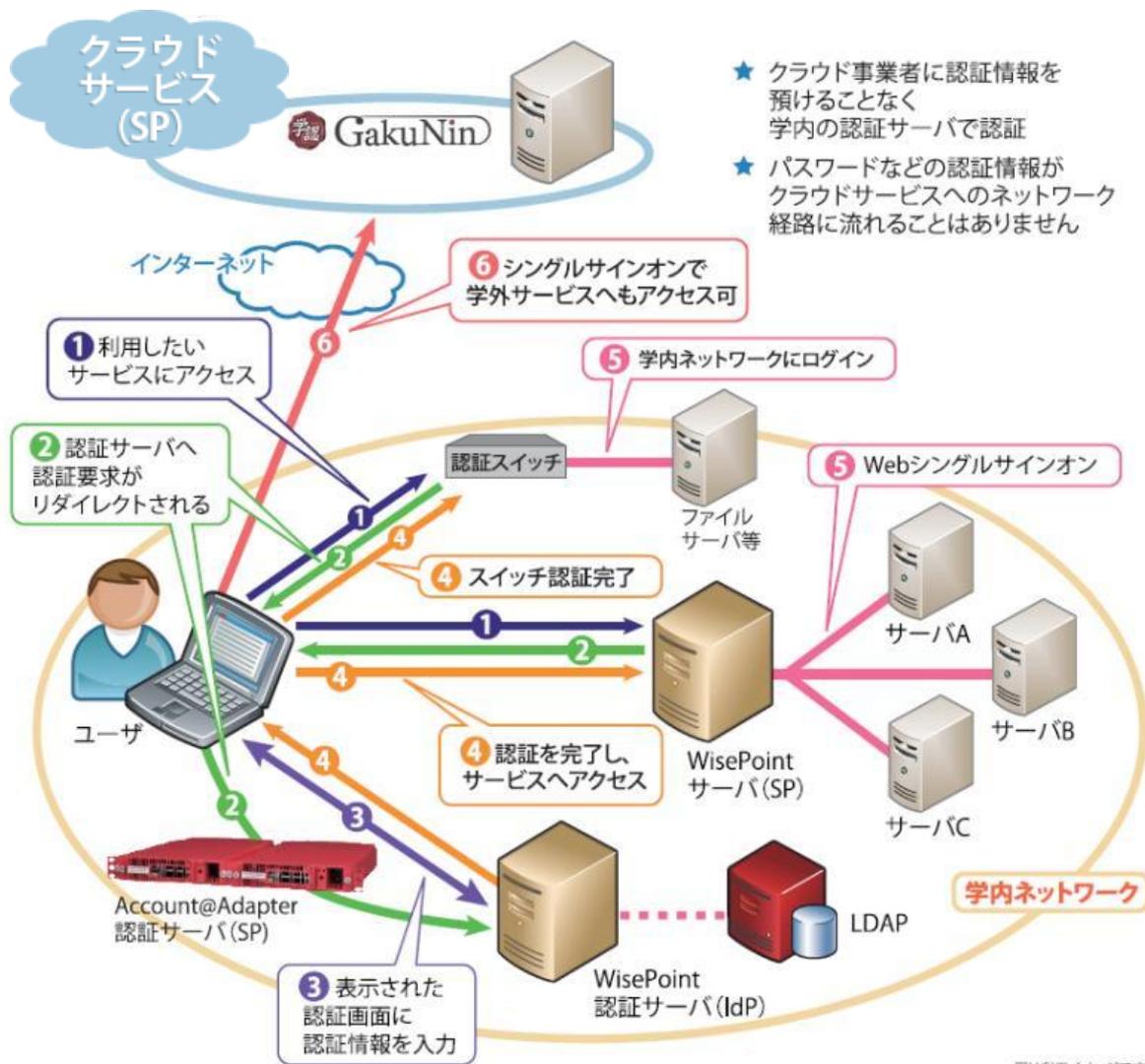
大学や企業では、Google Apps、Office365、Salesforceなどのクラウドサービスを利用するシーンが増え、また、大学においては、学術認証フェデレーション（学認：GakuNin）に参加して教育コンテンツ・電子ジャーナル等のサービスの利用が進んでいます。これらのサービスは、統合ID管理を目的としたShibboleth認証によるシングルサインオンに対応しています。WisePointは早くからShibboleth認証に対応し、得意とするマトリクスコード認証やワンタイムパスワード認証を用いた多要素認証で、クラウドや学認サービスにおける高セキュアな認証システムを提供していました。

一方、昨今の情報漏洩等の問題から、ネットワークの入口に認証を設ける「ネットワーク認証」が多くの大学や企業で導入されています。このため、クラウドや学認サービスの認証とネットワーク認証を併用している環境では、「クラウド・学認」と「ネットワーク認証」の各ログイン操作を、それぞれ実施しなければならず、これらを1度で認証するシングルサインオンの需要が高まっています。そこで、2013年10月にAccount@AdapterのShibboleth SPオプションをリリースし、「クラウド・学認」と「ネットワーク認証」のシングルサインオンに対応しましたが、今回、WisePoint認証サーバ（Idp）と連携することで、さらに、多要素認証でShibbolethシングルサインオン認証に対応することが可能となりました。

■システム概要

本システムは、Account@AdapterのShibboleth SPオプションと、WisePoint認証サーバ（Idp）が連携

したもので、WisePoint が提供するワンタイムパスワード認証に成功すると、Shibboleth 認証に対応したサービスにログインできると同時に、Account@Adapter が認証スイッチや無線コントローラに対してネットワーク認証を実行します。Shibboleth 認証に対応していない Web サービスに対しては、WisePoint サーバ (SP) がリバースプロキシとなってシングルサインオンを実施します。これにより、①クラウド・学認サービス (SP) ②学内・企業内ネットワーク③学内・企業内 Web サーバへの 3 つのシングルサインオンが実現できます。



■用語説明

- 1) Shibboleth 認証：米国の Internet2 プロジェクトで開発された Web 系情報サービスシステムの分散シングルサインオン方式。内部では SAML を用いる。
- 2) ネットワーク認証デバイス：有線スイッチや無線コントローラなど、認証が許可されるまで、配下に接続される端末のネットワーク通信を遮断するデバイス。
- 3) 学認：学術認証フェデレーションの略称で、国立情報学研究所が推進する、全国の大学や研究機関および学術機関向けサービス提供者での共通認証機構に関する連携。各機関の構成員は、加盟機関が提供するサービスを、学内サービスと同様にシングルサインオンで利用可能になる。
- 4) マトリックスコード認証：パスワードの代わりに行列のマス目に記入した数値・文字列のコードを利用者認証に用いる。サービス側が指定する座標のコードを、利用者がパスワードとして入力する。
- 5) 多要素認証：利用者認証時に、パスワードだけでなく、他の要素（マトリックスコード、秘密の質問、ワンタイムパスワード等）を併用する認証方式。
- 6) Idp：ID Provider の略で、ユーザーがシングルサインオンを利用して他の Web サイトにアクセスできるようにする認証さ

れたプロバイダです。

7) SP : Service Provider の略で、アプリケーションを提供するプロバイダです。

【販売目標】 Adapter シリーズ年間販売目標 5 億円

【日立電線ネットワークス株式会社】

日立電線ネットワークスは、日立金属グループのネットワークインテグレーション会社です。日立金属(旧・日立電線)から継承した 20 年以上のシステム構築実績を活かし、「ネットワーク」、「セキュリティ」、「ビジュアルコミュニケーション」、「トータルマネジメントサービス」のフィールドで、企業をはじめ大学や官公庁向けにワンストップのトータルネットワークソリューションをご提供しています。導入事例、ソリューション、取り扱い製品の詳細は、以下の URL からご覧いただけます。

<http://www.hitachi-cnet.com>

【ファルコンシステムコンサルティング株式会社】

ファルコンシステムコンサルティング株式会社は、2000 年の設立以来、先進のセキュリティ技術とコンサルティング手法に基づき、利便性と安全性を考慮した、認証特化型セキュリティシステムの開発・販売を行っています。2003 年 4 月にリリースした Web 認証システム「WisePoint」を軸に、RADIUS プロトコル対応「WisePoint Authenticator」など、認証強化ソリューションを展開しています。

<http://www.falconsc.com/>

【本ニュースリリースに関するお問い合わせ】

お問合せ先	日立電線ネットワークス株式会社 お問合せ URL http://www.hitachi-cnet.com/inquiry/index.html
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■登録商標

Account@Adapter は、日立電線ネットワークス株式会社の登録商標です。

WisePoint は、ファルコンシステムコンサルティング株式会社の登録商標です。

学認、GakuNin は、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構の登録商標です。

Google は、Google Inc. の登録商標です。

Office365 は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Salesforce は、salesforce.com, inc. の登録商標です。

本ニュースリリースに記載されているその他の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

以上